

■ 1984年  
8月20日 第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

定価100円

KSKP  
NO.102

# がいづぶり通信

題字 酒井雄哉大阿闍梨

津久井やまゆり園で大きな悲しみに襲われました。お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りいたします。そして、けがをされた方が一日も早くご快復される事を心より願っております。

子どもたちは今回の事件で大きな不安を感じたと同時に、家族・支援者は、この事件での障害のある方の尊厳が今なお軽んじられていることに大きな衝撃を受け、それ以上に怒りを禁じ得ませんでした。差別や虐待を超えた「障害者なんていなくてよい」という「優生思想」が今なお叫ばれたこと。それも若者が発していることに戦慄を覚えました。このような考えが、子どもたちの不安を増幅させます。

健常と障害の垣根はどこにあるのでしょうか。今や障害の概念は、社会的に不自由を感じている場合を意味するようになっています。最新医療では失った機能を再現・復活出来るようになってきました。身体や心に不自由を

大きな悲しみを  
乗り越えて

感じていない自分を健常者と呼び、そうでないものを障害者と呼ぶこと事体が大いなる間違いだと気づいて下さい。障害は身体や心だけの問題ではなく、社会や世間がバリアーを残していることに起因しているのです。

今回の事件では、若者が大きな見当違いを起こしているようですが、これはこれまでの学校や社会が正しい教育を行ってこなかった証です。滋賀県には大きな財産があります。糸賀先生に教えていただいた「この子らを世の光に」です。事実、私達家族・支援者は子どもたちの姿を通して、勇気づけられています。今こそこの言葉を大きく発信し、子どもたちを安心させる責任があります。

大きな悲しみを乗り越えて、「子どもたちを世の光に」「子どもたちこそが社会の世の光」たり得る事を伝えていきましょう。そして、皆が共に歩み、暮らせる共生社会を作りましょう。

滋賀県障害児者と父母の会連合会  
代表 植松潤治

相模原事件をうけて

## ～障害児者の命の重さ～ 出し合おう私達の思い

日時 9月27日(火)10時～  
場所 大津市立障害者福祉センター

親、施設の職員や有識者を囲んで  
みんなで語り合います。  
お誘い合わせてぜひご参加ください。

### CONTENTS

- 2 特集**  
ロボットが身体障がい者の近い未来を変える!  
Part1／医療・福祉分野のロボットの役割と近未来予想
- 4 お知らせ**  
平成28年度親子療育キャンプのお知らせ  
第51回 近畿肢体不自由児者福祉大会のお知らせ
- 5 レポート**  
第60回滋賀県肢体不自由児者福祉大会  
運動会開催レポート
- 6 インフォメーション**  
2016年市民フォーラム&おでかけ市長室開催  
Dr.植松のQ&A「子どもの睡眠障害」
- 7 トピックス**  
<地域貢献活動>NPO法人守山弥生遺跡研究会  
縁の下の力持ちサン
- 8 障害者権利条約ってなに?**

# 特集

## ロボットが身体障がい者の近い未来を変える!?

### Part 1 医療・福祉分野のロボットの役割と近未来予想

最近「AI」、人工知能を持ったロボットが注目されています。オセロや将棋で人間を打ち負かすロボット、という複雑な思いがありますが、こうした人間に近いロボットが、身体に障がいを持った人たちのサポートとなる、近未来がすぐそこにやってくるのでは?!

夢ではなく現実的なロボットの医療や福祉分野での役割と近未来の在り方について、立命館大学教授の永井清さんにお聞きしました。

### ロボット研究を通して 介護者がより優しさを發揮でき、 障がい者が参画できる社会を実現したい

#### ロボットは「気の利いた」道具になる得る

##### 質問 医療・福祉分野で ロボットにどんな役割が果たせると 考えておられますか?

道具は、紙を切るときに使う「はさみ」のように、使う人が自分のしたいことをするために使うものですが、障がいのある人の場合は、普通の道具では十分ではないので「気の利いた」道具が必要になります。ロボットはその「気の利いた」道具になり得る、ということが研究のベースになっています。

##### 質問 道具としては、ロボット自身が介助してくれたり、 ガンダムのように体に装着するイメージがありま すが、気の利いたロボットとはどんなものですか?

ロボットには大きくわけて二つのタイプがあります。一つは「自立型」といって、鉄腕アトムのように自分で考えて行動するロボット。もう一つは鉄人28号のように人が操作するタイプのロボットです。鉄人28号は主人公がコントローラーを操作して簡単な指示をするだけで、ちゃんとやっつけるべき相手を攻撃します。どちらが「気の利いた」道具かというと、鉄人28号の方です。道具を使う人が意思表示できるなら、鉄人28号のように、ロボットが「気の利いた」道具となって、やりたいことをアシストすることができます。

##### 質問 それを実現しようとすると、 人それぞれに合わせたロボットを 製作しないといけないということですか?

そこで、ロボットに学習機能があれば、人が水を飲む間隔や、どういう状況でどれくらいの温度の水をほしがるか、ということを学習した上で、次にやることを考えることができます。ですから、一人ひとりに合わせて製作しなくとも、使っていくうちに一人ひとりに合ったロボットに



立命館大学 理工学部 ロボティクス学科  
教授 永井 清さん

**【プロフィール】**立命館大学理工学部ロボティクス学科教授。工学博士。1959年埼玉県生まれ。1987年京都大学学院工学研究科精密工学専攻博士課程退学。米国スタンフォード大学客員研究員、英国レディング大学客員研究員などを経て、2007年から現職。研究テーマは次世代ロボットの開発。

なっていくわけです。

ただ、特殊な障がいを持った人のためだけの特殊な道具をつくるのは、技術的には可能でも実用化するのは資金の問題で難しい。でも障がいのある、なしに関わらず誰でもベッドサイドに置いて使いたくなる汎用品として製作できれば、用途が広がります。障がい者の場合はオプションとして「気の利いた」道具としての機能を付け加えることで、障がいの有無に関わらずすべての人が共用できる製品にできる。そのような方法も考えられますね。ですから、実現可能なプランを描き、研究開発に向けた関心が集まる旗の振り方がむしろ重要な要素になってくると思います。

#### 脊椎損傷で手足の動かせない人にも応用できる

##### 質問 研究されているリハビリロボットとは どんなものですか?

脳卒中に罹患した人の運動機能回復訓練を支援するロボットです。脳卒中で腕が動かせなくなった人に対して、動かそうと思う運動意図を脳波から読み取り、ロボットがその人の腕を動かすという動きをします。するとダメージを受けた部分を補う新たな脳内のフィードバックループが再構成されます。体性感觉の刺激で、脳の再建が促進されるのです。



▲脳卒中の人の運動機能回復訓練を支援するリハビリロボットの試作機。動かそうと思う運動意図を脳波で読み取って、ロボットが腕を動かす仕組み。こうすることで、ダメージを受けた脳内の回路にかかる新しい回路が再構成され、機能回復が促進されるという。別途開発した上肢の日常生活動作を誘導・補助するエスクート型リハビリロボットの構成方法を取り入れる予定のこと。

##### 質問

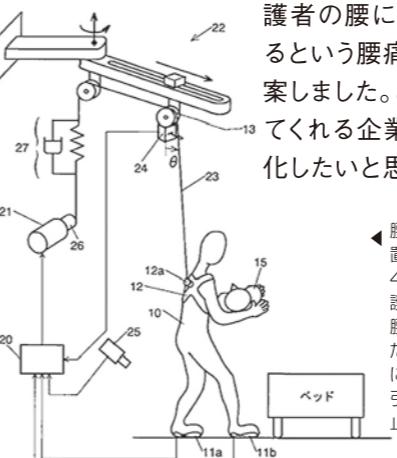
脳波によってロボットを動かせるということは、脊椎損傷で手足の動かせない人に望まれるロボットを作れる可能性もありますか?

そうですね。例えば手足が全く動かない人が、今、水が飲みたいという要望があるとします。ロボットがその人の視線を常に追いかけて、その先に水のボトルが置いてあればロボットが「水を飲みたいですか」と尋ね、それに対して「イエス」と書いてあるところを見れば、「わかりました」といつて水を飲めるように水差しを口元に持っていく、というものを作ることはできると思います。声で指示をする、視線で指示をする、場合によっては何か必要だ、ということを思い浮かべたらロボットがそれを読み取って「何かご用ですか」と聞いてくれる、というシステムも考えられますね。

#### ロボットの技術を通して、 介護者が優しさを發揮できる環境づくりを

##### 質問 介護者を支援するロボットも 実現可能でしょうか?

開発段階まで進んでいませんが、介護者の腰痛防止のためのロボット(介護補助装置)を考案し特許を取得しました。福祉施設で介護者の動きを見ていたときに、二人の介護者が大勢の被介護者を次々にベッドから車椅子に移乗させる場面がありました。リフトもあったのですが、使うような時間的余裕もない状態でした。これでは腰痛になるだろう、ということで介護者が移乗支援をするとき補助して介護者の腰にかかる負担を軽減するという腰痛を防止する装置を考案しました。どこか協力して開発してくれる企業があれば、ぜひ実用化したいと思っています。



▲腰痛防止のための介護補助装置の概念図。特許公報(特許第4953263号)より抜粋。被介護者を移乗させる際に介護者の腰にかかる負担を、足に取り付けた力覚センサで検出し、その力を応じた補助力で介護者を上に引っ張り上げることで腰痛を防止する仕組み。

##### 質問 介護でも人ととのコミュニケーションが大切だと 言われる中、ロボットが介在することのメリットは何だと思いますか?

ロボットは道具なので、好き勝手に使えます。夜中にトイレに行きたいときでも人に頼まなくて済むし、介護者の力が足りないところをアシストすることもできる。いわば大変な部分を道具が受け持つことで、介護の大変さを減らす役割が果たせるわけです。そうすると、本来人が人に對して行う介護を、より丁寧に手厚く気の利いたものにすることができます。大げさに言えば道具を使うことで、介護者が優しさを最大限に發揮できるようになる、ということです。

「気の利いた」ロボットで  
意思疎通が可能になれば  
障がい者は社会に出て行くことができる

##### 質問 障がい者自身が、ロボットを使うことで受け取る メリットとして、他にどんなことが考えられますか?

ロボットに対して脳波によって意思を伝える事が可能となっていますが、こうしたロボットを介して技術的に意思疎通ができるようになることで、意思を周りの人に伝えにくかった障がい者が社会に出て行くことが可能になるのではないかと思っています。例えば障がいのある子どもが、自分の考えていることを伝えられない場合、言いたいことを「気の利いた」システムが読み取り人工の音声で聞こえるようにするという技術があれば、他人と意思疎通できるようになります。そうすると、障がいのある人が家庭で日常生活を過ごせたり、職場や学校に行くことに対してハードルを下げるができるのではないかでしょうか。これは実際に技術的には可能です。

##### 質問 現実化するために今後どんなことが 必要になってきますか?

現状では、障がい者の家族に過大な負担が強いられています。また障がい者自身も、排泄行為を人に見られずにすることなど、人としての尊厳を守るために大切だと思います。そうしたことに対して技術的な補助が足りない、社会的な制度が不十分なために、人が本来持っている優しさが発揮できない社会になっています。技術と社会制度の両方が組み合わさってはじめて、優しさが発揮できる社会になる。そのための、技術的な問題を解決することが可能となっていました。次は社会制度の部分でハードルを下げる取り組みが必要ではないでしょうか。

#### まとめ

前回通信で私のQ & Aコーナーでも取り上げましたが、今回は特集記事にしていただきました。ロボットスーツは数年前から本格的に開発が進んできました。その可能性については今回の特集を読んでいただければご理解して頂けると思います。また、平成28年4月から医療として正式に認められ、保健診療の対象となりました(対象となる疾患は別途決まっています)。益々期待されるところです。障がいは治らないとされてきましたが、このような機器を届けることで、障がいを被る前よりも力強くなれるかもしれませんね。

滋賀県障害児者と父母の会連合会 代表  
植松潤治



# お知らせ

## 平成28年度親子療育キャンプのお知らせ

■日時 **10月29日(土)・30日(日)  
1泊2日**

■場所 **こんぜの里栗東 森遊館**

栗東市観音寺537-1

■内容 親子で療育活動・研修に参加する宿泊事業です。  
**療育活動**

- ①ボイタ法の案内
- ②作って感じるミュージック!

29日に実施します。  
お好きな方に  
ご参加ください

■参加費 〈昼・夕・朝食付き・1泊2日〉

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ●付き添いのご家族、または支援者の方 | ..... 10,000円／お一人様 |
| ●お子さま              | ..... 8,000円／お一人様  |

※3名以上同室で宿泊される場合はさらに補助します。  
お友達と一緒に参加してみませんか?

参加には申込用紙・フェイスシートの提出が必要です。  
日帰り参加もできますので、詳しくは事務局まで  
お問い合わせください。

■申込締切 **9月16日(金) 必着**



▲昨年の「療育キャンプ」の様子

■参加申込・お問い合わせはこちらまで

滋賀県障害児者と父母の会連合会 事務局  
〒524-0022 守山市守山町168-1  
TEL 077-583-6395 FAX 077-514-1702

## 第51回 近畿肢体不自由児者福祉大会のお知らせ

■日 時 **平成28年10月22日(土) 受付10:00～**

■場 所 **神戸市勤労会館** 神戸市中央区雲井通5丁目1-2

(市営地下鉄・JR・阪急・阪神・ポートライナー各三宮駅から東へ徒歩5分)

■申込締切 **9月16日(金) 必着**

※滋賀県障害児者と父母の会連合会で  
取りまとめて参加申込をいたします。

■参加申込・お問い合わせはこちらまで

滋賀県障害児者と父母の会連合会 事務局  
〒524-0022 守山市守山町168-1  
TEL 077-583-6395 FAX 077-514-1702

滋賀県障害児協会と滋賀県障害児者と父母の会連合会では、共同して「医療的ケアがあつても暮らせるグループホーム」開設の準備を計画しています。  
しかし、肝心の用地が決まりません。  
かいづり診療所医療圏(大津・湖南(草津・栗東・守山))で、「これはどうか!?」  
と思われる土地を是非紹介してください。

ご連絡は、**滋賀県障害児協会(電話077-583-6395)**まで。  
お待ちしております。



# レポート

## 第60回 滋賀県肢体不自由児者福祉大会

開催日時 平成28年7月10日(日)13時30分～15時30分  
開催場所 大津市生涯学習センター



▲挨拶する植松代表

今年度の福祉大会は「障害者総合支援法3年後の見直しについて」～子どもたちの安心生活は保障されたのでしょうか～をテーマに掲げて開催されました。

大会式典では、開催地大津市の越市長からの歓迎の言葉を福祉こども部監見部長に代読していただきました。次に、滋賀県知事からの祝辞が、健康医療福祉部瀬古部長により代読されました。続いて衆議院議員川端達夫衆議院副議長、大岡敏孝先生から祝辞を頂戴しました。

「障がい児・者との共育・共生をめざす作文」(ふれあい作文)の朗読では、受賞者を代表して佐久本盛陽さんと藤木楓さんが登壇され、自身の作文を発表されました。

理事長賞受賞の佐久本盛陽さんの作文「身近な障がい」では、障がいのあるクラスメートとの学校生活を通じて、障がいへの理解がすすみ、共生社会の実現を願う佐久本さんの純粋な気持ちが伝わってきました。

▲「障がい児・者との共育・共生をめざす作文」の朗読

審査委員長賞受賞の藤木楓さんの作文「私のおじいちゃん」では、視覚障がいのあるご家族との暮らしのなかで、藤木さんが想像力をふくらませて、寄り添う姿が伝わってきました。

お二人の心温まる作品の朗読は、会場内に共感の輪を広げました。

講演会では、全国手をつなぐ育成会連合会の久保厚子会長を講師としてお招きました。「障害者総合支援法3年後の見直しについて」をテーマにご講演いただき、障害者総合支援法3年後の見直し点について分かりやすくお話をいただき、参加者の学びの場となりました。

ケルームでは、午前中は工作、午後はミュージック・ケアの講師をお迎えし、楽しい時間を過ごしました。

蒸し暑い中、103名の来場があり、参加者の皆さま、ご来賓、スタッフ全員の協力によって無事に福祉大会を開催することができました。

ご協力いただいた全ての皆さま、ありがとうございました。  
なお、次年度の福祉大会は長浜市で開催する予定です。

## かいづり大運動会

### ～かがやけ、みんなが主役の運動会～

7月2日(土)、滋賀県立障害者福祉センターで開催しました。今年度は初めてのユニット対抗戦になり、4チームに分かれて競技を行いました。和やかな雰囲気で始まった運動会ですが、対抗戦と言うこともあり、初戦のボッチャから白熱したゲームが行われ、応援にも熱が入ります。

結果発表の場面では、得点箱の中のボールを紅白歌合戦のように数える演出があり、競技中とは違うドキドキ感を会場にいた全員で味わいました。

終始笑い声や応援の声に会場が包まれ、参加者全員が笑顔で運動会を楽しむことができました。

利用者の皆さま、ご家族の皆さま、ボランティアの皆さま、職員全員が協力して事故や怪我もなく過ごすことができました。

本当にありがとうございました。

実行委員:小川茉美湖



## 湖北タウンホーム運動会

梅雨の最中、6月27日(月)に開催されました。開会式では赤組、白組に分かれての選手宣誓のあと、全員でラジオ体操をして競技にのぞみました。玉入れ、葉子食い競走に続き、借り物競走ならぬ借り(人)競走で大いに盛りあがりました。

タウンホームの仲間として、利用者さんが一丸となって楽しもうとする雰囲気が伝わってきました。体と気持ちをひとつにして競技をすること、チームに分かれて競争をすること、普段の暮らしのなかだけではなかなか得られない刺激は輝くような笑顔をうみました。

これからも、今回の運動会のように利用者さんの元気があふれるような行事を企画したいと思います。職員としてのやりがいを感じた一日でした。

実行委員:上田梓



# インフォメーション

## 2016年市民フォーラム&おでかけ市長室開催のお知らせ

■日時 平成28年9月10日(土) 14:30~17:20(開場14:00)

■会場 立命館守山中学・高等学校 メディアホール 守山市三宅町250番地

■第1部 講演会

演題:100歳大学のススメ「超高齢化社会」を自分らしく生きるために!

講師:國松善次 氏 一般社団法人 健康・福祉総研理事長(元滋賀県知事)

■第2部 おでかけ市長室

演題:「住みやすさ日本一の<守山市>を目指して!」

守山市 宮本和宏 市長

主催:おたがいさんネットワーク・これから行動隊

後援:守山市・守山市社会福祉協議会・公益社団法人守山市シルバー人材センター

■お問い合わせはこちままで

おたがいさんネットワーク事務局

電話:077-514-1685 湖南ホームタウン内

参加費  
無料  
予約不要

定員  
200名

### Dr.植松のQ&A



Q

子どもって、昼間、遊んで  
夜はぐっすり眠る、という印象がありますが、  
子どもに睡眠障害が  
おこることがあるのでしょうか?

A

子どもの睡眠時間は、8時間を切ると睡眠不足となります。睡眠不足が続くことで体重増加があったり、メンタルヘルスの悪化があることや学業成績の低さと関係していることもあります。また、遅寝・遅起きを続けると体内時計が徐々に遅れることも知られています。まじめにクラブ活動を頑張り、遅く帰宅してから宿題も頑張る。受験前には遅くまで塾で勉強。やっと週末休めると思って、昼まで爆睡。このように不規則かつ睡眠不足を続けるとある日突然朝が起きられなくなり不登校となることもあります。不登校の子どもの80%に睡眠の問題があると考えられています。これは気持ちで怠けたのではなく、脳や体の慢性疲労なのです。

睡眠不足を避けるには、目覚めたら部屋のカーテンを開けて、早く朝の日差しを浴びるようにしましょう。夜も推奨された睡眠時間がとれるよう決まった時間には就寝しましょう。ただ、睡眠不足を起こす背景には、アトピー性皮膚炎で痒くて眠れないとか、いびきがきつくて良い睡眠の質が取れていないなど、体の問題がある場合はしっかりと病気を直すことも忘れないでください。

大人が、子どもたちの良い睡眠が取れる社会環境にしたいものです。

植松潤治先生プロフィール

湖北グリープクリニック 院長

日本小児科学会専門医  
日本小児神経学会専門医

日本リハビリテーション  
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同  
大学院卒業、医学博士。日本小児科学会、  
日本小児神経学会、日本リハビリテーション  
医学会、日本児童青年精神医学会、日本  
重症心身障害学会所属。介護支援専門員。

### 地域貢献活動

ONW(おたがいさんネットワーク)とは、湖南ホームタウン(通称:かいづりハウス)の設立趣旨が「福祉のまちづくり」であることから、地域社会において開拓的・先駆的に地域貢献に取り組んでいる市民団体・住民活動の支援のために設立したネットワークシステムです。ONW加盟団体の活動を紹介します。

#### 守山には日本一の弥生遺跡群がある

NPO法人 **守山弥生遺跡研究会**



ご存知でしょうか?

守山市および隣接市域には全国に誇れる素晴らしい弥生時代の遺跡が幾つもあります。下之郷遺跡、伊勢遺跡は国指定を受けています。このほか、服部遺跡や下長遺跡も素晴らしい遺跡です。野洲市では多くの銅鐸が見つかり、日本で最大の銅鐸が出土しています。これだけ素晴らしい遺跡がたまて存在する地は他にはありません。日本一と言えるでしょう。

しかしながら、これらの遺跡は約30年にわたり、土地開発に伴って少しずつ発掘され、調査確認の後は地下に保存処理されており、その全貌を見るすることはできません。このため、歴史的に貴重な遺跡にも関わらず、多くの人たちにはその存在、内容、歴史的意義がよく知られていないのが実情です。それがとても残念でした。

守山市がいかに歴史的意義のある土地であり、優れた歴史文化を育んできたか、▲「野洲川下流域の弥生遺跡」のトップページを多くの方々に知っていただくため、ホームページを作成し発信することを目的として、平成26年2月にNPO法人としてスタートしました。これまでに伊勢遺跡、下之郷遺跡のホームページを作り、昨年は「野洲川下流域の弥生遺跡」の全貌を紹介するホームページを作成し公開しました。

興味本位ではなく、学術的にもしっかりした内容の作品づくりを心掛け、全国から大きな反響をいただいている。滋賀県の「滋賀Web大賞」ホームページコンテストでは、2年連続して地域活動部門の最優秀賞に輝きました。

このほか考古学の専門家による歴史講演会や勉強会を開いたり、パソコンが苦手の方のためにホームページ印刷版を発行したりしています。昨年は、ONWの助成で「下之郷遺跡」ホームページの印刷版を作成しました。

今後ともこの地の弥生遺跡の素晴らしさを伝えていきたいと頑張っています。ご支援をよろしくお願い致します。関心をお持ちの方はメールにてご連絡ください。



▲ホームページ公開記念講演会の様子

NPO法人 **守山弥生遺跡研究会** 理事長 田口一宏  
E-mail:info-myk@yayoiken.jp http://shimonogou-iseki.yayoiken.jp/

### 縁の下の力もちサン



ご支援ありがとうございました!  
(平成28年4月~7月分掲載)

寄付金

【湖北タウンホーム】 乗光秀明様、植松潤治様、中村宗寛様

【湖南ホームタウン】 堀北村孝様、NTT西日本滋賀支店様、乗光秀明様、岩本剛様、岩本弘子様、下田義春様、山川喜一郎様

【父母の会】 向井様

物品ご寄付

【湖北タウンホーム】 公益財団法人河本文教福祉振興会様、川添喜美恵様、牧元和美様、石田順三様

【湖南ホームタウン】 北川英次様、マナビイ滋賀様、榎原正仁様、高木英資様、川端哲志様

ボランティア

【湖北タウンホーム】 伊藤ゆきゑ様、赤井淑子様、古脇慶子様、横山博志様、西川桂子様、

野列真喜子様、草場田佳子様、古山富美子様、村地司様、下村こと代様、藤井惠美様、米田礼子様、デルロサリオ・恵美様、坪田様、長浜老人クラブ連合会虎姫支部様、赤十字奉仕団虎姫支部様、

虎姫民生委員様、花見月様、しーなとシュウ様、コスモス様、ハンドマッサージ「和」様、やまびこ座様、虎姫中学吹奏楽部様

【湖南ホームタウン】 吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者様、車椅子レクダンス矢草車の会様、

マナビイ滋賀様、レイカディア大学34・35・38期生様、楽々20様、青人草様、守山健康マージャン「すこやか会」様、森田孝子様、

村山晴美様、吉岡信子様、飯田勝栄様、大江末子様、茶谷正子様、樋口操子様、宮川明子様、芝田規子様、津田貞子様、林田博恵様、

山田昱子様、寺井美耶様、美濃部文代様、林皓子様、大倉ミヤコ様、中野由美子様、吉田佐代子様、後藤知恵様、饗庭夏生様、

演邊未歩様、森井孝一様、小窪紀枝様、龍谷大学ボランティア講座受講生様

【父母の会】 浅野仁美様

書き損じハガキが  
ございましたら、  
父母の会事務局まで  
よろしくお願いします。

# 障害者権利条約ってなに?

シリーズ第28回目

すみか

## 住み処は全世界

イラスト:るーしー小林

障がい者が、世界を股にかけて生きることは夢ではないのです。ただ近頃、それも阻む行為、例えば身勝手なテロや理不尽な差別や線引きが多く見られるのに、心を痛めてしまいます。

障がい者の移動の自由と国籍についての権利の前途を、この権利条約が灯台や道しるべとして、明るく照らしたり導いたりしてくれることを願うばかりです。



障害者権利条約から部分的に抜粋してご紹介します。

### 第18条 1項

#### 移動の自由 及び国籍の自由についての権利 より

締約国は、障害者に対して次のことを確保すること等により、障害者が他の者との平等を基礎として移動の自由、居住の自由及び国籍についての権利を有することを認める。

- (a) 国籍を取得し、及び変更する権利を有すること並びにその国籍を恣意的に又は障害に基づいて奪われないこと。
- (b) 国籍に係る文書若しくは身元に係る他の文書を入手し、所有し、及び利用すること又は移動の自由についての権利の行使を容易にするために必要とされる関連手続(例えば、出入国の手続)を利用するなどを、障害に基づいて奪われないこと。
- (c) いずれの国(自国を含む。)からも自由に離れることができること。
- (d) 自国に戻る権利を恣意的に又は障害に基づいて奪われないこと。

## 滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、76,691人、年金受給者は、51,994人となっております。(平成24年度末現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

### 扶養共済窓口

TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920

### 編集後記

私の恩師は、今小学校の校長先生として学校のホームページに学校通信を執筆しておられます。

私は生徒でも保護者でもありませんが、その更新を楽しみにしている読者の一人です。

恩師の文章は現実的で厳しい雰囲気が漂う文面なのですが、私にとっては何故か温かく諭されているように感じることもあり、不思議な魅力を持っています。

小学生の頃は恩師の文章に登場する引用が何なのかよく分からぬまま、ただ文章の内容を読み取ることしかできませんでした。

今は私も担任当時の恩師の年齢を追い越したこともあってか、少しばかり恩師の視線に近づいて文章を読むことができるようになってはいます。

ですが、書く方は…と言うと、まだまだ経験不足なようです。

恩師のような文章を書くことができればと思いつつ、毎回通信の締め切りを前に悩んでいます。(小川美美湖)

### 【編集人】

#### 社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内

[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702

[URL]<http://www.open-mind.jp>

[E-MAIL][kaitsuburi@open-mind.jp](mailto:kaitsuburi@open-mind.jp)

#### 滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内

[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702

[URL][http://www.open-mind.jp/about\\_fubo/](http://www.open-mind.jp/about_fubo/)

[E-MAIL][info2005@open-mind.jp](mailto:info2005@open-mind.jp)



## いつも元気でね健診

かいづり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいづり診療所まで

**TEL:077-514-1715**



■ 1984年  
8月20日 第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行  
■ 発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円

8